ランチョンセミナー

ランチョンセミナー L1-2　　7月2日（水） 11:45-12:45 第2会場

IHI VICT3R Project -非臨床試験への仮想コントロールグループのコンセプトの導入

講　師：アロック　シャーマ（ラボコープ）
　　ウィリアム　オニール（チャールズリバー・ラボラトリーズ）
　　ブレンダ　フィニー（インステム）
座　長：佐藤 玄（エーザイ（株）グローバルレギュラトリー非臨床部）
共　催：チャールズリバー・ラボラトリーズ /DSA SCIENTIFIC 合同会社、
ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン合同会社、Instem Japan 株式会社

概　要

VICT3R プロジェクトは、European Innovative Health Initiative（IHI）の資金提供を受けた官民連携パートナーシップであり、医薬品および化学物質の安全性に関する毒性試験における動物の使用削減に取り組んでいます。VICT3R は、精選された過去のデータと高度な統計および AI を用いたアプローチに基づく仮想対照群（VCG）の開発を通じて、対照動物に代わる科学的に健全な代替手段を提供することを目指しています。VICT3R の目的は、実際の対照群を「仮想対照群」（VCG）に置き換えることで、安全性試験に使用される動物の数を大幅に削減することです。医薬品および化学物質の安全性試験で使用される動物の約 25% は対照群（試験対象物質を投与されない群）であるため、これを仮想動物に置き換えることは、使用される動物の数に大きな影響を与えます。
仮想対照群のコンセプトは、ヒトでの試験前に潜在的な医薬品に対して実施される毒性試験の品質向上を目指した IMI2 プロジェクト eTRANSAFE から生まれました。長年にわたり、製薬会社やその他の組織は毒性試験における対照群に関する膨大なデータを蓄積してきました。eTRANSAFE は、このデータを活用して仮想対照群を作成できることに着目しました。試験によって VGC コンセプトの実現可能性は実証されましたが、実用化にはさらに多くの作業が必要です。VICT3R は、VGC の導入を阻む課題に対処し、VGC コンセプトの規制当局による承認を得ることを目指しています。

ランチョンセミナー L1-3　　7月2日（水） 11:45-12:45 第3会場

超高プレックスイメージング技術を用いた空間プロテオミクスの導入方法：毒性学を含む研究への応用

講　師：Gil-Je Lee, Ph.D.（Akoya Biosciences）
座　長：上野 朋行（キコーテック株式会社）
共　催：Akoya Biosciences / キコーテック株式会社

概　要

革新的な空間生物学アプリケーションである空間フェノタイピング（シングルセル / サブセルレベルでの組織全スライドイメージング）は、探索研究から臨床までのプロセスを加速します。PhenoCycler-Fusion 2.0 は、Akoya の超高プレックス自動化サイクルシステム PhenoCycler と、高速イメージングシステム Phenolmager™ を統合したプラットフォームで、シングルセル空間プロテオミクス及びトランスクリプトミクスの強みを結合し、包括的な組織情報を提供します。本セミナーでは、Akoya Biosciences の空間プロテオミクスソリューションと、組織サンプルを使用した毒性試験への応用をご紹介します。

ランチョンセミナー L1-4　　7月2日（水） 11:45-12:45 第4会場

AIの力を解き放つ：薬剤安全性における規制情報検索と高度な可視化分析のための新機能 PharmaPendium RegAIおよびTox Navigator

講　師：Thomas Vargues（Elsevier B. V.）

座　長：大山 崇広（エルゼビア・ジャパン株式会社）

共　催：エルゼビア・ジャパン株式会社

概　要

製薬業界は、臨床試験、FDA、EMA、PMDA のパッケージなど、さまざまな情報源から膨大な量の規制データと安全性データを生成しています。これらのデータの多くは非構造化されており、安全性の問題の特定を複雑にしています。このセミナーでは、AI と高度な分析が医薬品の安全性におけるデータ駆動型の意思決定をどのように向上させるかを探ります。自然言語処理（NLP）や検索拡張生成（RAG）などの AI 手法を用いて、新たな機能である PharmaPendium RegAI で非構造化文書を分析する方法について議論します。また、PharmaPendium Tox Navigator を使用して構造化された安全性データを分析し、薬剤開発を最適化、患者の安全性を向上させる方法も検討します。

ランチョンセミナー L1-5　　7月2日（水） 11:45-12:45 第5会場

三次元培養近位尿細管上皮細胞3D-RPTEC®を用いた薬物誘発性腎障害評価系の開発

講　師：荒川 大（名古屋市立大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野）

座　長：橋爪 研太（積水メディカル株式会社 創薬支援センター センター長）

共　催：積水メディカル株式会社

概　要

腎臓を構成する部位のうち近位尿細管は薬物トランスポーターが豊富に発現するため薬物の集積性が高く、薬物誘発性腎障害（DIKI）が好発する。従来 DIKI は実験動物を用いた in vivo 実験により評価されているが、細胞培養工学技術の進歩とともに従来よりも生理学性の高い細胞モデルの開発が進み、創薬研究における in vitro 安全性評価への応用が期待されている。本セミナーでは DIKI モデル構築にあたり望ましい機能や評価手法について概説し、演者が開発を進めている三次元培養ヒト近位尿細管上皮細胞 3D-RPTEC® を用いた in vitro DIKI 評価系の有用性や今後の課題について紹介する。

ランチョンセミナー L1-6　　7月2日（水） 11:45-12:45 第6会場

開発が進む新規ヒト型試験系の動向と行政利用の今後 ～定量イメージング技術（Quanticell®）の活用事例～

講　師：石田 誠一（崇城大学大学院 応用生命科学専攻）

　　高橋 優（コニカミノルタ株式会社 プレシジョンメディシン事業管理部）

座　長：樋口 剛史（事業統括部門 非臨床事業部 創薬イノベーションセンター 研究第2ユニット）

共　催：メディフォード株式会社

概　要

化学物質のリスク評価における代替試験法の推進や新規モダリティーの進展から、MPS（Microphysiological systems）等を用いたヒト型試験系の開発が期待されている。その中で Quanticell® は、ヒトや動物の細胞内外に発現しているタンパク質や薬剤等を、独自開発した高輝度蛍光粒子 (PID: Phosphor Integrated Dots) を用いて高感度かつ定量的に局在解析する染色技術である。本セミナーでは、MPS に関する国内外の開発情勢や規制科学の取り組みの他、Quanticell® の原理や活用事例について紹介したい。

ランチョンセミナー L1-7　　7月2日（水） 11:45-12:45　第7会場

ニューモダリティ医薬品における不純物評価とLC/MS定量の最前線

講　師：福井 英夫（アクセリードドラッグディスカバリーパートナーズ株式会社）
　　合田 竜弥（Future Peak 株式会社）
司　会：山田 久陽（メディフォード株式会社）
　　古川 義之（アクセリードドラッグディスカバリーパートナーズ株式会社）
共　催：アクセリードドラッグディスカバリーパートナーズ株式会社 / メディフォード株式会社

概　要

ニューモダリティ医薬品では、不純物評価に関する ICH ガイドラインが未整備であり、規制当局やモダリティにより基準が異なる。
これにより、医薬品開発において不純物の構造決定や安全性評価に多くの課題が存在し、統一的な対応が困難となっている。
本セミナーでは、最新の動向や実際の事例を交えながら不純物の構造決定方法や安全性評価のポイントを詳しく解説するとともに、ニューモダリティ医薬品の品質管理に求められる要件を明確化する。
また、LC/MS を用いたペプチド・タンパク質定量における技術的課題や分析誤差の要因を整理し、ペプチド吸着制御 LC を利用した効果的な定量法について具体例を挙げて紹介する。

ランチョンセミナー L2-2　　7月3日（木） 12:45-13:45　第2会場

新日本科学におけるMPS（Microphysiological Systems）への取組み

講　師：諏訪 喜昭（株式会社新日本科学）
座　長：蓑毛 博文（株式会社新日本科学）
共　催：株式会社新日本科学

概　要

近年、FDA 近代化法 2.0 や NAMs (new approach methodologies) 活用に関するロードマップなど発出され、in vitro 評価系活用の動きが加速している。
そのような情勢のなか、当社では MPS（Microphysiological Systems）を導入し、受託試験サービスを開始しております。
本ランチョンセミナーでは、新日本科学における MPS への取組みについてご紹介いたします。

ランチョンセミナー L2-3　　7月3日（木） 12:45-13:45　第3会場

Level 2 in vitro Endocrine Disruption Testing: pitfalls and opportunities from a CRO's perspective

講　師：Sjoerd Verkaart, PhD（Charles River Laboratories Den Bosch）
座　長：南 宏幸（DSA SCIENTIFIC 合同会社）
共　催：DSA SCIENTIFIC 合同会社

概　要

Disruption of hormone balance (endocrine disruption, ED) by novel and existing chemicals is one of the most important hazards identified by the EU and abroad and under increasing regulatory examination. Chemicals are systematically evaluated e.g. within the context of the EU Regulation for REACh following 5 levels of testing, starting from in silico predictions (level 1), followed by in vitro testing (level 2) extending to very complex in vivo studies (level 3-5).
Level 2 is designed to investigate the response of a chemical on estrogenic (E), androgenic (A), steroidogenic (S) and thyroid (T) modes of actions and are aimed to provide sufficient information on ED properties of a chemical and to prevent subsequent further in vivo testing.
In this presentation, the results of the S-modality assays, aromatase (OPPTS 890.1200) and H295R steroidogenesis (OECD 456), will be discussed and compared, as well as potential pitfalls and opportunities using these assays.
In addition, an overview and experimental strategy of in vitro T-modality assays will be presented along with an experimental proposal to gain more information from in vivo studies in which thyroid homeostasis is determined.

ランチョンセミナー L2-4　7月3日（木） 12:45-13:45 第4会場

① PXB-mouseとPXB-cellsを用いたin vivo/in vitro毒性評価

講　師：石田 雄二（株式会社フェニックスバイオ 研究開発部）

② PXBマウスを用いた肝毒性研究の課題と展望

講　師：井澤 武史（大阪公立大学大学院獣医学研究科 獣医病理学）
司　会：松見 達也（株式会社フェニックスバイオ）
共　催：株式会社フェニックスバイオ

概　要

① cDNA-uPA/SCID マウスをホストとしたヒト肝細胞キメラマウス（PXB マウス）及び、キメラマウス由来の新鮮ヒト肝細胞 (PXB-cells) は、ヒトへの外挿性の高いモデルとして薬物動態や薬効評価等の様々な分野で既に幅広く利用されているが、肝毒性の予測・評価や毒性メカニズム研究においても有用であると期待されている。本セミナーでは、これまでに我々のグループで実施してきた、in vivo 並びに in vitro での肝毒性に関わる研究成果について紹介する。
②ヒトと動物では解毒代謝能の種差が大きく，げっ歯類を用いた非臨床試験のみでヒトの毒性を完全に予測することは難しい。特に，代謝物が毒性発現に寄与する肝毒性については，毒性反応の種差が問題となる。PXB マウスなどのヒト肝細胞キメラマウスは，肝臓でヒト由来の解毒代謝酵素群を発現し，ヒトに近い薬物動態を示すことから，毒性の種差を克服する有用なツールとして期待される。一方で，PXB マウスでは肝毒性の反応が弱いという課題も残されている。本セミナーでは，発表者のこれまでの PXB マウスを用いた肝毒性研究の概要と，細胞接着に着目した肝毒性メカニズムに関する新たな研究展開を紹介する。

ランチョンセミナー L2-5　7月3日（木） 12:45-13:45 第5会場

siRNA製剤の非臨床安全性評価について

講　師：Pan Leo（WuXi AppTec）
座　長：高崎 真理（WuXi AppTec）
共　催：WuXi AppTec

概　要

As one of major types of rapidly evolving Oligonucleotide-Based Therapeutics, small interfering RNA (siRNA) products have emerged as a promising approach for the treatment of a wide range of diseases, particularly those with genetic disorders. Despite the great potential and significant boost of siRNA drug development, no specific nonclinical testing guidance has been issued officially by regulatory agencies. We will review the nonclinical safety evaluation strategies adopted by some products and also projects under development. A full panel of nonclinical safety studies of siRNA products will be introduced and key aspects for considerations during study design and conduct will be discussed.

ランチョンセミナー L2-6　7月3日（木） 12:45-13:45 第6会場

創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」～安全性分野での活用～

講　師：野村 城司（株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部）
座　長：宮本 実（株式会社 FRONTEO ライフサイエンス AI 事業本部）
共　催：株式会社 FRONTEO

概　要

FRONTEO の独自開発した自然言語処理 AI「KIBIT」は、事象を連続的に繋げて導く、従来型の連続的な発見とは異なり、文献に記載のない関連性であっても見つけ出す、非連続的な発見を可能とするエンジンです。この KIBIT をベースに、新規性の高い標的探索、Drug Repositioning やそれらの裏付けとなる仮説生成を中心に様々な創薬における課題を解決するサービス「Drug Discovery AI Factory」を展開しています。本セミナーでは研究開発における安全性評価にフォーカスし、オンターゲット毒性予測、毒性機序解析や試験報告書データーベース構築等の KIBIT 活用の事例をご紹介します。

ランチョンセミナー L2-7　　7月3日（木） 12:45-13:45　第7会場

Navigating your drug development journey: Nonclinical strategies to optimize success

講　師：David Coleman（Labcorp）
座　長：Anthony Vo（Labcorp）
共　催：ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン合同会社

概　要

Pharmaceutical de-risking refers to strategies used to identify and mitigate potential risks in the drug development process, aimed at reducing the likelihood of failure and improving the chances of successful drug approval and commercialization. This talk starts with the importance of a target product profile and moves to the use of in vitro technology to de-risk some common causes of candidate failure (DDI, MIST and DILI) whilst managing genetic tox liability. Lastly, some practical hints and tips to reduce financial outlay / save time during nonclinical development are presented.

ランチョンセミナー L3-3　　7月4日（金） 12:15-13:15　第3会場

生殖発生毒性や甲状腺ホルモンの攪乱を予測するためのNAMsの応用

講　師：Stefan Pudenz（Labcorp）
　　山田 智也（Labcorp Laboratories Japan）
座　長：田島 和志（Labcorp Laboratories Japan）
共　催：ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン合同会社

概　要

このセッションでは、QSAR モデルや in vitro アッセイといった新しいアプローチ手法（NAMs）を用いた、生殖発生毒性（DART）および甲状腺ホルモン攪乱（THD）の予測について考察します。特に、DART 評価を支援するための内分泌攪乱モデルの統合、THD メカニズムの特定における in vitro アッセイの役割、そしてこれらのアプローチを規制上の安全性評価に導入するために必要な検証および標準化の取り組みの現状について焦点を当てたいと考えます。

ランチョンセミナー L3-4　　7月4日（金） 12:15-13:15　第4会場

人を模す、毒性を見抜く ヒト生体模倣モデル × AI 画像解析が拓く新時代

講　師：江尻 洋子（Mimetas Japan 株式会社）
　　宇田川 紘司（モレキュラーデバイスジャパン株式会社）
座　長：中沢 太郎（モレキュラーデバイスジャパン株式会社）
共　催：モレキュラーデバイスジャパン株式会社 / Mimetas Japan 株式会社

概　要

近年、毒性評価に用いられるモデルはより複雑性の高いものが求められており、そのようなモデルを自動的かつ均一に調製するような技術もまた求められています。
モレキュラーデバイス社は、AI 画像解析を活用した画期的なオルガノイド自動培養システムとハイコンテントイメージングシステムを併用し、ヒトの生理を模倣したモデルのハイスループットな 3D 毒性スクリーニングに取り組んでいます。
MIMETAS 社の OrganoPlate® システムは、シンプルな構造ながら高度な生体機能を再現できる MPS 技術として、毒性評価の革新に貢献しています。
本セミナーでは、両社のシステムの応用例と可能性についてご紹介します。

ランチョンセミナー L3-5　7月4日（金） 12:15-13:15 第5会場

①ARCC-4およびARD-2128によるアンドロゲン受容体の標的型タンパク質分解：AR依存性がんにおけるプロテオミクス的および治療的可能性

講　師：Chun-Yao Lee, Ph.D.（Managing Director, Eurofins Panlabs Discovery Services Taiwan）

②神経炎症、細胞毒性、安全性、およびより広範な生物学的影響に対応するアッセイにおける薬剤の評価

講　師：Alastair J. King, Ph.D（生物学部門責任者 , Eurofins Discovery）

座　長：Chun-Yao Lee, Ph.D.（Managing Director, Eurofins Panlabs Discovery Services Taiwan）

共　催：Eurofins Panlabs Discovery Taiwan

概　要

Targeted protein degradation (TPD) offers a new strategy to eliminate disease-related proteins. We evaluated AR degraders ARCC-4 (VHL-based) and ARD-2128 (CRBN-based) in prostate cancer, showing superior potency and anti-proliferative effects compared to enzalutamide. Using proteomics, ternary complex assays, and OncoPanel/BioMAP profiling, we assessed efficacy, off-target effects, and biomarkers. This study supports AR degraders' safety and translational potential.

ランチョンセミナー L3-6　7月4日（金） 12:15-13:15 第6会場

Safety evaluation of novel therapeutics using non-human primate models

講　師：Yongbin (Robert) Zhang（JOINN Laboratories）

座　長：Yi Zhu（Fuji Film）

共　催：JOINN Laboratories

概　要

Safety evaluation of novel therapeutics is important in drug development. Non-human primates (NHPs), due to their genetic and physiological similarities to humans, are critical for assessing toxicity, pharmacokinetics, and pharmacodynamics before clinical trials. Advanced techniques like imaging and biomarker analysis could identify adverse effects that were not observed in other models. While 3Rs ethics and alternatives like organoids or organ-on-a-chip systems are emerging, NHP models remain essential until these models can replicate complex biological responses. The presentation will discuss the applications of NHPs and novel approaches to evaluate safety of the novel therapeutics.

ランチョンセミナー L3-7　7月4日（金） 12:15-13:15 第7会場

抗がん剤の心毒性評価におけるhiPSC-CMの機能的変化 / In vivoにおける抗がん剤の心臓毒性を評価するためのアプローチ

講　師：金 蛾美（株式会社ネクセル）
　　中根 史行（シミックファーマサイエンス株式会社）

座　長：川岸 裕幸（国立医薬品食品衛生研究所）

共　催：株式会社ネクセル / シミックファーマサイエンス株式会社 シミックバイオリサーチセンター

概　要

ドキソルビシンとスニチニブ誘発心毒性は、hiPSC 由来心筋細胞を用いて評価され、収縮性の時間的および用量依存的な低下を示した。これらの所見は、電気生理学とともに、抗ガン薬心毒性の包括的な前臨床評価のための収縮性分析の価値を強調している。 /// in vivo 試験の新たな心毒性評価法を構築するため、ドキソルビシンとスニチニブをマウスに反復投与し、エコー法を用いて心機能の変化を測定した。さらに、心臓組織の病理検査とリアルタイム PCR 解析を実施し、本法が抗がん薬の心毒性予測に有用であることを報告する。

Sponsor ガイド（各社一覧）

受託研究機関

Axcelead Drug Discovery Partners株式会社 / Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.

中分子・核酸医薬など多様化する創薬に、スピード感あるソリューションで対応。IND申請支援やノックインモデルを活用した毒性・安全性評価で開発の前進を加速します。

キーワード
創薬ソリューション・スピード対応・IND申請支援・毒性・安全性評価・ノックインマウス

住所　：251-0012　神奈川県藤沢市村岡東二丁目２６番地の１
TEL　：0466-32-4500
E mail：contact@axcelead.com
URL　：https://www.axcelead.com/

DSA SCIENTIFIC合同会社 / DSA SCIENTIFIC G.K.

DSA SCIENTIFICはCharles Riverの安全性試験サービスの日本での独占代理店として、同社のサービスを紹介しております。フルポートフォリオの試験を提供する実績豊かなCharles Riverから、今回は内分泌かく乱試験の専門家が弊社共催ランチョンセミナーにて講演を行います。

キーワード
安全性試験・幼若・生殖発生毒性試験・内分泌かく乱・経皮吸収試験・環境リスクアセスメント

住所　：220-0004　神奈川県横浜市西区北幸1-11-1 水信ビル7階
TEL　：070-9261-3768
E mail：info@dsa-scientific.com
URL　：www.dsa-scientific.com

BioMed Linkage Tech Co., Limited

BioMed Linkage offers comprehensive, one-stop solutions for CRO and CDMO services in China. We collaborate with top-tier CDMOs, pharmacology CROs, and GLP-certified CROs to provide end-to-end support across drug manufacturing, pharmacology, DMPK, and toxicology studies—spanning both IND- and NDA-enabling programs.
We bring particular strengths in two key areas:
1. IND and NDA-Enabling Studies
   We specialize in DMPK and toxicology studies across multiple species, including non-human primates (NHPs), to support regulatory submissions from IND through NDA.
2. Extensive NHP Capabilities in China
   Our robust resources allow us to support a wide range of NHP studies, including:
   • Disease models for efficacy evaluation
   • PK and efficacy studies using both naïve and non-naïve NHPs
   • Pre-tox and formal toxicology studies for IND/NDA-enabling programs

With an experienced, China-based project management team, we ensure high-quality execution and strict adherence to timelines.
If you're seeking reliable and cost-effective CRO or CDMO services in China, BioMed Linkage is well positioned to be your trusted partner.

キーワード
Pharmacology Services・DMPK Services・Toxicology Services・Medical Device Testing・CDMO Services

住所　：Building 3, 228 Jingle Road, Langxia Town, Jinshan District, Shanghai, China
TEL　：86-15895750137
E mail：ellen.deng@biomedlinkage.com
URL　：https://www.biomedlinkage.com/

Eurofins Advinus

Eurofins Advinus offers comprehensive toxicology services for Pharma/Biotech, Agrochemical, Industrial chemical, and medical devices. We have over 30+years of GLP experience we ensure reliability & accuracy of data with highest level of customer satisfaction. Data from our labs has been accepted and approved by various regulatory authorities.

キーワード
Toxicology・Safety Assessment・Ecotoxicology・Genetic toxicology・Biocompatibility Studies

住所　：21 & 22 Phase II, Peenya Industrial Area, Bangalore 560058, India
TEL　：91 80 6655 2700
E mail：bd.toxicology@advinus.eurofinsasia.com
URL　：https://www.advinus.com/

Cyprotex Discovery Limited

Established in 1999, Cyprotex Limited was acquired by Evotec (www.evotec.com) in 2016. Cyprotex, an Evotec company, has sites at Alderley Park near Macclesfield, UK and in Framingham near Boston, USA. The company has dedicated and highly qualified employees with proven experience in a wide range of specialist techniques acquired across diverse industries. The majority of our clients focus in pharmaceutical research, however, we also support clients in the chemical, cosmetics and personal care, agrichemical and tobacco industries. Cyprotex specialises in in vitro and in silico ADME and toxicology services. This includes in vitro ADME and safety assessment to support discovery projects, regulatory in vitro ADME and DDI studies during preclinical and clinical development, specialist techniques for assessing mechanisms of in vitro human and animal toxicity (e.g. transcriptomics, 3D models, high content screening, and MEA electrophysiology) and PBPK/QSAR modelling expertise.

キーワード
ADME-Tox・DDI・Transcriptomics・DILI・High content screening

住所　：319-0312　茨城県水戸市大足町909-1
TEL　：070-8345-5511
E mail：yatsu.masaaki-ext@cyprotex.com
URL　：https://www.cyprotex.com

Eurofins Discovery

We are a global leader in scientific testing and laboratory services for advancement of drug discovery and human health. We delivers drug discovery solutions for thousands of clients around the globe. We provides a comprehensive portfolio of products and services to support your drug discovery and development needs from concept through to preclinical stages

キーワード
Drug Discovery・Safety・Pharmacology・Hit Finding・Candidate Selection

住所　：24891　No. 25, Wugong 6th Rd., Wugu Dist., New Taipei City, Taiwan
TEL　：+886-2-7751-7000
E mail：clientservicestaiwan@tw.eurofinsasia.com
URL　：https://apac.eurofinsdiscovery.com/

Fraunhofer ITEM

Fraunhofer ITEM conducts research to protect human health, focusing on toxicology, chemical risk assessment, and regulatory support. We offer studies on chemicals, biocides, and pesticides—serving industry and public authorities for over 25 years in contract research.

キーワード
Inhalation studies・Biopersistence・Acute Toxicity・
Chemical Safety and Assesment・Regulatory Risk Assesment

住所　：Nikolai-Fuchs-Str. 1, 30625 Hannover
TEL　：0049 511 5350-521
E mail：gustav.bruer@item.fraunhofer.de
URL　：www.item.fraunhofer.de

株式会社VitroVo / VitroVo, Inc.

微小電極アレイ（MEA）計測技術を中心とした化合物評価の豊富な経験を基に、クライアントのニーズに沿って試験計画を立案し、精度の高いin vitro化合物試験を実施する企業です。創薬開発や化合物の安全性評価を通して、人類のQOL向上に貢献します。疾患モデルを含めた各種iPS由来ニューロン、心筋、脳オルガノイド、脳スライス、Rodent細胞を用意し、共同研究開発、データ解析、スクリーニング事業も行います。

キーワード
受託研究・共同研究・MEA・製薬・創薬・コンサルティング

住所　：980-0021　宮城県仙台市青葉区中央4丁目4-19
　　アーバンネット仙台中央ビル　3F　YUI NOS Room9
TEL　：050-1721-8132
E mail：contact@vitrovo.co.jp
URL　：https://vitrovo.co.jp/

JOINN Laboratories (China) Co., Ltd.

Founded in 1995, JOINN Laboratories is a company providing CRO services cover the entire spectrum from development to final drug registration. JOINN has built a thorough quality management system complied with the international standard: CNAS/ILAC-MRA, NMPA, US FDA, OECD, Japan PDMA and Korean MFDS GLP certification and international AAALAC accreditation.

キーワード
Non-clincial CRO・PMDA/FDA/OECD GLP Inspected・
Global regulatory support

住所　：No. 5 Rongjingdong Str., BDA, Beijing, China
TEL　：86-10-67869966
E mail：info@joinnlaboratories.com
URL　：https://www.joinnlabs.com

Vivotecnia Research SL

Vivotecniaは吸入毒性試験に特化したスペインのCROです。最先端の吸入装置とGLP認証施設を備え、単回投与毒性試験から反復投与毒性試験、生殖発生毒性試験、発がん性試験に至るまで豊富な実績を有します。株式会社ルナパス毒性病理研究所がVivotecniaの日本代理店を務めております。

キーワード
毒性試験・吸入曝露・GLP・CRO

住所　：28035　Calle Antonio De Cabezon 83 2 Planta,1 Oficina, Madrid Spain
TEL　：+34-91-728-07-13
E mail：registration.service@lunapath-jp.com
URL　：https://www.vivotecnia.com/

PRAKHYA RESEARCH LABORATORIES

We provide regulatory support for plant protection formulations , drugs, house hold products , insecticides/pesticides/fungicides , bio simulants and bio protective agents for crop protection use.We advise on registration of all products data requirements, study report preparation , study monitoring , medical/regulatory toxciology and pathology services and meet registration authorities to close approvals

キーワード
toxicology・medical・pathology・regulatory support・
insecticide /pesticide/CRO

住所　：CHENNAI, INDIA
TEL　：+91 8056023759
E mail：prakhya@yahoo.com

WuXi AppTec

WuXi AppTecは医薬品研究開発製造を受託するグローバル企業として、経験と最先端の技術に基づき、あらゆる標的クラス・モダリティ・疾患に対応した数千の評価・樹立済みin vitro/vivo試験系、DMPK試験、安全性評価、サルなどの大動物を用いた試験、INDパッケージ・臨床試験サービスをご提供します。

キーワード
INDパッケージ・大動物（イヌ・ブタ・サル）を用いた試験・安全性評価・バイオアナリシス・薬物動態解析

住所　：600-8815　京都府京都市下京区中堂寺粟田町９３
　　KRP4号館 3階　KRP BIZ NEXT
TEL　：075-315-1044
E mail：Japan_Office@wuxiapptec.com
URL　：https://wuxiapptec-japan.com/

一般財団法人化学物質評価研究機構 / Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan

CERIは医薬品をはじめ、化粧品、農薬、化審法等の申請用GLP試験を承っています。
動物愛護に配慮したニジマス鰓細胞アッセイ及びゼブラフィッシュ胚発生毒性試験、医薬品不純物の評価(ICH M7対応、PDE・OEL設定、E&L評価)にも対応します。
ご興味がございましたらぜひブースにお立ち寄りください。

キーワード
安全性試験・遺伝毒性試験・環境毒性試験・代替法・不純物評価

住所　：112-0004　東京都文京区後楽1-4-25　日教販ビル7F
TEL　：03-5804-6134 / FAX：03-5804-6140
E mail：cbc@ceri.jp
URL　：https://www.cerij.or.jp/

ジェノスタッフ株式会社 / Genostaff Co.,Ltd.

ISHに特化した組織染色受託会社として発足した会社となりますが、組織染色に関する様々なサービスを提供しております。
外来性核酸をISHで検出する染色試験を信頼性保証基準で対応しております。
iPS 細胞やオルガノイドの組織染色にも対応しております。
弊社ブースへお越しください。

キーワード
ISH・IHC・組織染色・HE染色

住所　：113-0032　東京都文京区弥生2-5-8GSビル
TEL　：03-5615-8857
E mail：support@genostaff.com
URL　：https://genostaff.com/

株式会社化合物安全性研究所 / Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd.

化安研は、非臨床および臨床試験の受託を行っているCROです。これまでに培ってきた経験をもとに、医薬品・医療機器・再生医療等製品など各種モダリティの開発における、非臨床試験から臨床試験までをワンストップサポートする体制を構築しています。コストを抑えながらも、質の高いサービスをご提案させていただきます。

キーワード
安全性試験・臨床試験・医療機器・再生医療等製品・農薬

住所　：004-0839　札幌市清田区真栄363番24
TEL　：011-885-5031 / FAX：011-885-5313
E mail：KA-info@ka-anken.co.jp
URL　：https://www.ka-anken.co.jp

シミックファーマサイエンス株式会社 / CMIC Pharma Science Co., Ltd.

シミックファーマサイエンス株式会社は、医薬品、医療機器、再生医療等製品などの非臨床安全性試験や有効性試験を行う受託機関です。
7月4日、iPS細胞を販売するNEXEL社主催の、抗がん剤の心毒性評価に関するランチョンセミナーで弊社研究員が登壇します。
ポスター発表・ブース出展もございますので、是非お立ち寄りください。

キーワード
安全性試験・GMP・再生医療等製品・医療機器・iPS

住所　：408-0044　山梨県北杜市小淵沢町10221番地
TEL　：0551-36-2455 / FAX：0551-36-3895
E mail：shogo-kobayashi.pc@cmicgroup.com
URL　：https://www.cmicgroup.com/corporate/group/cmic-phs/

コスモ・バイオ株式会社 / Cosmo Bio Co., Ltd.

コスモ・バイオでは、毒性・安全性評価に関連した様々な商品・サービスを取り扱っております。
本学会では、InSphero社の肝スフェロイドモデルや腎毒性評価サービスなど、細胞を用いた *in vitro* のアッセイ系を中心にご紹介しております。

キーワード
InSphero・肝毒性・腎毒性・スフェロイド・種差評価試験

住所　：135-0016　東京都江東区東陽二丁目2番20号　東陽駅前ビル
TEL　：03-5632-9616
E mail：dds_info@cosmobio.co.jp
URL　：https://www.cosmobio.co.jp/

株式会社新日本科学 / Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

非臨床安全性試験の受託研究機関です

キーワード
受託研究機関・非臨床試験

住所　：891-1394　鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438
TEL　：099-294-2600
URL　：https://snbl.com/

積水メディカル株式会社 / SEKISUI MEDICAL CO.,LTD.

積水メディカルは非臨床薬物動態試験を中心にTK測定、in vitro 肝毒性予測、in vitro腎毒性予測、in vitro安全性薬理評価など、幅広く創薬支援を行っております。ぜひお気軽に当社展示ブースにお立ち寄りください。

キーワード
肝毒性予測・バイオアナリシス・バイオマーカー・安全性薬理・腎毒性評価

住所　：103-0027　東京都中央区日本橋2-1-3
TEL　：03-3271-5634
E mail：toiawaseyakudo@sekisui.com
URL　：https://www.sekisuimedical.jp/business/adme_tox/

一般社団法人日本安全性試験受託研究機関協議会 / Japan Association Contract Laboratories for Safety Evaluation (JCAL)

35年以上の歴史を持つ非臨床試験受託研究機関の協議会で、正会員14機関、賛助会員1機関で構成されています。主な取組みは、1. 諸情報の共有、2. 関係諸団体との連携、3. 非臨床試験の市場調査、4. 講演会等の開催、5. 製薬協との共同の運営管理者意見交換会の実施、6. 認定技術者制度の運営、7. 教育テキストの販売等です。

キーワード
安研協・非臨床試験受託研究機関協議会・安研協認定技術者認定制度・安全性試験の教育・研修テキスト

住所　：288-0874　千葉県銚子市豊里台1-1044-534
TEL　：0479-21-3016 / FAX：0479-21-3016
E mail：ankenkyou.office@gmail.com
URL　：https://jacl.or.jp/

株式会社トランスジェニック / Trans Genic Inc.

2024年10月1日に㈱安評センターから社名を変更し新たな一歩を踏み出しました。TGR試験(OECD TG488)・中期発がん性試験をはじめ数多くの安全性評価試験を受託しております。遺伝子改変マウス(KO・KI)作製/生産・CTを使用したイメージング試験・薬効薬理試験・安全性試験・臨床試験までトータルサービスをご提案いたします。

キーワード
遺伝毒性試験・中期発がん性試験・核酸医薬・遺伝子改変マウス・薬理試験

住所　：437-1213　静岡県磐田市塩新田582番地2
TEL　：0538-58-1266 / FAX：0538-58-2961
URL　：https://www.transgenic.co.jp

株式会社日本バイオリサーチセンター / Nihon Bioresearch Inc.

医薬品、医療機器、再生医療等製品の非臨床試験を実施している、開発型・提案型のコントラクトラボです。ミニブタ専用施設や小動物の高度免疫不全動物専用施設、BSLⅡの感染施設も有します。特にミニブタを用いた試験は700試験を超える実績があります。モデル構築試験からも実施しますので、お気軽にお問い合せ下さい。

キーワード
ミニブタ・薬理・感染・医療機器・再生医療

住所　：501-6251　岐阜県羽島市福寿町間島6-104
TEL　：058-392-2431 / FAX：058-392-2432
E mail：nbrkikaku@nisshin.com
URL　：https://www.nbr.co.jp/

日精バイリス株式会社 / NISSEI BILIS CO., LTD.

日精バイリス株式会社は、安全性試験、薬理試験、品質試験等、非臨床試験の受託研究機関です。
得意とする薬理試験の経験を生かした副次的薬理試験、特に化合物の催吐評価においては多数の実績があります。
様々なメニューを有しておりますので、是非展示ブースへお立ち寄り下さい。

キーワード
非臨床試験・薬理試験・安全性試験・各種病態モデル・受託

住所　：528-0052　滋賀県甲賀市水口町宇川555
TEL　：0748-63-5250 / FAX：0748-63-0735
E mail：info@bilis.co.jp
URL　：http://www.bilis.co.jp

株式会社ボゾリサーチセンター / BoZo Research Center Inc.

ボゾリサーチセンターは医薬品・医療機器・再生医療等製品、医薬部外品、化学物質、農薬、食品・食品添加物・トクホ、動物用医薬品など様々な分野において、豊富な経験と高い技術力による信頼性の高い試験を提供しています。

キーワード
安全性試験・毒性試験・分析試験・遺伝毒性試験・薬効薬理試験

住所　：151-0065　東京都渋谷区大山町36-7
TEL　：03-5453-8101
URL　：https://www.bozo.co.jp/

ミメタスジャパン株式会社 / Mimetas Japan K.K.

MIMETAS社は、細胞の生理環境を高度に再現する革新的な技術を提供しています。当社の組織培養チップ“OrganoPlate”や、独自のハイスループット上皮電気抵抗(TEER)測定装置の製造販売及び、創薬支援事業として受託研究サービスを提供しています。最新の臓器チップ技術や研究例についてご紹介致しますので、是非展示ブースまでお越し下さい。

キーワード
OrganoPlate・MPS・TEER・Phenotipic Assay・オーガンオンチップ

住所　：103-0023　東京都中央区日本橋本町3−8−3
　　日本橋ライフサイエンスビルディング3
TEL　：03-4400-5934
E mail：info-jp@mimetas.com
URL　：https://www.mimetas.com/ja/home/

メディフォード株式会社 / Mediford Corporation

メディフォードは今後も医薬品、再生医療等製品、医療機器、農薬、化学物質、化粧品等さまざまな分野からのご要望にお応えすべく、GLP評価認証の試験施設はもとより、先進的な技術と知見、そして長年の経験を通じて培った総合力によりお客様の研究開発パートナーとして高水準の非臨床・治験サービスを提供いたします。

キーワード
非臨床・吸入毒性・再生医療・PDX・薬物分析

住所　：174-0053　東京都板橋区清水町 36番 1 号
TEL　：03-6905-5861
URL　：https://www.mediford.com/

株式会社薬物安全性試験センター / Drug Safety Testing Center Co., Ltd.

Leave ICH S7B best practices to DSTC ！
DSTCはICH S7Bに準拠したGLP試験実績は国内随一。医薬品、医療機器、健康食品、農薬など多様な安全性試験に丁寧かつ迅速に対応。お客様のニーズに応じて親身にサポートします。ブース番号24でお待ちしております！

キーワード
hERGベストプラクティス・反復投与毒性試験・Ames試験・健康食品・医療機器の生物学的安全性試験

住所　：355-0166　埼玉県比企郡吉見町黒岩25-1
TEL　：0493-54-3239 / FAX：0493-54-5274
E mail：sales@dstc.co.jp
URL　：https://www.dstc.jp/

ラボコープ・ラボラトリーズ・ジャパン合同会社 / Labcorp Laboratories Japan

Labcorpはアメリカに本社を置くグローバルライフサイエンス企業です。日本から欧米及びAPAC市場への医薬品導入に関心をお持ちの製薬会社様や研究者様をサポートし続け、
新規化合物開発・各国登録をサポートするため、複数の試験(環境動態・代謝、残留物分析、毒性試験、発生・生殖試験、ヒト安全性試験、他)を行っております。

キーワード
非臨床開発(医薬品、農薬、化学品)・セントラルラボサービス・
安全性試験サービス

住所　：104-6111　東京都中央区晴海1-8-11 晴海トリトンスクエアオフィス棟 11F
TEL　：03-6837-9530
URL　：https://jp.labcorp.com/

BioSpyder Technologies Inc

BioSpyder Technologies Inc. has developed a novel product for targeted sequencing called TempO-Seq™, a gene expression profiling tool designed to monitor hundreds to thousands of genes at once in high throughput. TempO-Seq can analyze expression in samples with thousands of cells or from single cells without pre-amplification, maximizing utilization of precious or limited samples. Sample barcoding, together with sequencing short fragments of each gene, enables pooling up to 6,144 samples in one sequencing run. Assay content is flexible and customizable delivering unprecedented accuracy and sensitivity with simplified data analysis that eliminates the need for bioinformatics. TempO-Seq assays deliver an easy to use solution for customers doing expression profiling for any species.

キーワード
High-throughput transcriptomics・Single-cell analysis・DBS・miRNA・Liquid biopsy

住所　：5928 Pascal Court, Suite 100, Carlsbad, CA , 92008
TEL　：760-476-1800
E mail：info@biospyder.com
URL　：BioSpyder.com

株式会社ケー・エー・シー / KAC Co.,Ltd.

㈱ケー・エー・シーは実験動物飼育管理業務を事業の主軸としており、バイオサイエンスのトータルサポートを通じて健康社会に貢献いたします。本学会では、1) 実験動物学・実験手技のeラーニング研修、2) 実験動物関連の受託試験業務、3) 新しいヒト肝細胞：HepaSHやECACC細胞株、血液・皮膚等の生体試料などのご紹介をしております。

キーワード
e-SEAs・受託試験・HepaSH・ECACC標準細胞株・生体試料

住所　：110-0005　東京都台東区上野１丁目４－４藤井ビル３F
TEL　：03-5807-7161
E mail：soumu-support@kacnet.co.jp
URL　：https://www.kacnet.co.jp

関東化学株式会社 / Kanto Chemical Co., Inc.

各種組織モデル作製や安全性試験に有用な試薬をご提案いたします。
■ 毛細胆管形成用培地「ciKIC BCEMシリーズ」（New!）
■ セルカルチャーインサート「ビトリゲル2 シリーズ」
■ 眼刺激性試験法「Vitrigel-EIT法（TG494）」
■ TEER測定装置
■ iPS細胞由来腸管上皮モデル作製用培地

キーワード
肝細胞・胆汁うっ滞毒性試験・角膜上皮細胞・小腸上皮細胞・肝臓オルガノイド

住所　：103-0022　東京都中央区日本橋室町2-2-1 室町東三井ビルディング20F
TEL　：03-6214-1090
E mail：bio-info@kanto.co.jp
URL　：https://www.kanto.co.jp/

日機装株式会社 / NIKKISO CO., LTD.

日機装株式会社は医療機器や精密機器で培った技術をバイオ分野へと発展させ、ヒト腎細胞「3D-RPTEC」を開発しました。3D-RPTECは薬物トランスポーター等が高発現した腎臓スフェロイドです。ブースにて細胞サンプルや腎毒性試験の資料を取り揃えております。新製品の6well plateサンプルもありますので是非お立ち寄り下さい。

キーワード
腎臓・腎毒性・薬物動態・薬物トランスポーター・スフェロイド

住所　：150-6022　東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
　　恵比寿ガーデンプレイスタワー 22階
TEL　：03-3443-3751
E mail：3D-RPTEC@nikkiso.co.jp
URL　：https://www.nikkiso.co.jp/products/medical/3drptec/

クラボウ

正常ヒト細胞をカルチャーインサート内に3次元的に培養した製品、MatTek社3次元モデルを販売しております。製品ラインアップには膣上皮モデルをはじめ、皮膚/気管支/肺胞/口腔/角膜/小腸モデルなどを取り揃えております。多層化・分化したモデルはin vivo様の構造や機能を有し、より生体に近い環境での評価が可能です。

キーワード
ヒト細胞・3次元モデル・核酸抽出・遺伝子受託解析サービス・攪拌脱泡装置

住所　：105-0004　東京都港区新橋6-19-15 東京美術倶楽部ビルディング6階
TEL　：03-6371-1390
URL　：https://www.kurabo.co.jp/bio/

日本毛織株式会社 / THE JAPAN WOOL TEXTILE Co.,Ltd.

ヒトiPS由来心筋細胞の配向と機能的成熟を促進するゼラチン繊維基材をご紹介します。
【Genocel Cardio Plate】
心筋細胞評価用にカスタマイズされ、簡便な収縮評価、機能的な成熟の促進、過酷な条件下でも細胞剥離せずに評価が可能
【Genocel MicroPillars（開発品）】
収縮挙動をHTS評価、吸引移動でフレキシブル活用

キーワード
心毒性・MPS・3Dモデル・共培養・ヒトiPS細胞由来分化細胞

住所　：675-0053　兵庫県加古川市米田町船頭440
TEL　：079-431-2105 / FAX：079-431-2070
E mail：nrdc@nikke.co.jp
URL　：https://www.nikke.co.jp/

富士フイルム和光純薬株式会社 / FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation

富士フイルム和光純薬株式会社は、再生医療や創薬探索、神経科学、毒性試験など多岐における分野の研究用試薬・機器・受託サービス・生体試料を取り扱っております。日々の研究でお困りごとがございましたら、ぜひ弊社のブース(33，34番)にお立ち寄り頂き、ご相談ください。

キーワード
心毒性・神経毒性・生体模倣システム(MPS)・
ヒトiPS細胞由来分化細胞製品/試験受託・生体試料・
肝細胞/肝組織画分

住所　：540-8605　大阪市中央区道修町3-1-2
TEL　：0120-052-099
E mail：ffwk-labchem-tec@fujifilm.com
URL　：https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/index.html

株式会社ベリタス / Veritas Corporation

毒性試験で用いられるヒト生体試料、ヒト初代細胞(血液細胞、肝細胞)等に加え、様々な評価系で活用可能なオルガノイド培養や神経生理学研究用の培地など、毒性試験向けの製品をトータルでご提案させて頂きます。
【生体試料・細胞】
血液、ヒト初代細胞(血液細胞、肝細胞)、iPS由来神経細胞など
【培地・試薬】
オルガノイド培地、神経生理学研究培地、造血コロニーアッセイ培地など

キーワード
神経毒性・肝毒性・オルガノイド(腸管・肺・各種臓器)・ヒトiPS細胞・造血毒性

住所　：105-0013　東京都港区浜松町1丁目18-16　住友浜松町ビル6階
TEL　：03-5776-0078
E mail：rpt@veritastk.co.jp
URL　：https://www.veritastk.co.jp

マイキャン・テクノロジーズ株式会社 / MiCAN Technologies Inc.

マイキャン・テクノロジーズは、均質で精度の高い「特殊血球」を大量かつ安定的に生産する技術の下、安全性・免疫毒性検査に使用可能な細胞開発を行う会社です。また、「特殊血球」の提供を通じて、各種研究機関や企業・アカデミアの研究(感染症・免疫評価)を飛躍的に効率化し、新たな創薬プラットフォームを実現します。

キーワード
エンドトキシン・発熱性物質試験・動物実験代替法・単球活性化試験・Monocyte Activation Test

住所　：615-8245　京都市西京区御陵大原1-36 京大桂ベンチャープラザ
TEL　：075-381-3008
E mail：mican_sales@micantechnologies.com
URL　：https://www.micantechnologies.com/

三木産業株式会社

細菌由来セルロースナノファイバーを用いた３次元細胞培基材(3D-NanoFibGrow-I)の開発
１．培地に混ぜるだけの簡単操作で細胞の3D培養が可能！
２．非動物由来のナノファイバーセルロースなので安心・安全！
３．薬物代謝試験のハイスループットin vitro 試験に！

キーワード
3D培養・培地基材・セルロースナノファイバー

住所　：103-0027　東京都中央区日本橋3-15-5
TEL　：03-3271-4162 / FAX：03-3281-5366
E mail：kitaoka@mikisangyo.co.jp
URL　：https://mikisangyo.co.jp/

メドケムエクスプレス ジャパン / MedChemExpress Japan

MedChemExpress(MCE)は、世界をリードする生命科学研究用試薬及び生理活性物質のサプライヤーです。創薬から基礎研究まで、幅広い研究分野において高品質な製品や最先端のソリューションを提供しています。

キーワード
生理活性化合物・リコンビナントタンパク・ライフサイエンス試薬・スクリーニングライブラリー・受託合成サービス

住所　：272-0034　千葉県市川市市川3-2-19
TEL　：047-383-9047 / FAX：047-383-9048
URL　：https://www.medchemexpress.com/

株式会社ASICON / ASICON Tokyo Ltd.

マイクロ流体チップと灌流細胞培養装置を展示します。マイクロ流体システムを用いた灌流細胞培養は，剪断応力が内皮機能に与える影響の研究にも使用され，生体内の動的環境を再現し生理的条件下での細胞機能を研究する上で不可欠です。灌流により栄養の供給や老廃物の除去が行え，細胞の生存率，分化，機能性が向上します。

キーワード
灌流細胞培養・マイクロ流体・Organ-on-a-chip・マイクロ流路・MPS

住所　：810-0024　福岡市中央区桜坂1-15-20-602
E mail ：asicon-tokyo@asicon-tokyo.com
URL　：https://www.asicon-tokyo.com

MILabs B.V. (株式会社リガク) / MILabs B.V. (Rigaku Corporation)

MILabs' preclinical systems support versatile research applications for users worldwide at universities, CRO's and pharmaceutical companies.
MILabsは㈱リガク傘下の実験動物用イメージング装置ブランドです。弊社装置は業界トップクラスの低線量、高速、高分解能を誇り、創薬研究などの目的で世界中の研究機関や製薬企業に導入いただいております。

キーワード
非臨床試験(プレクリニカル; in vivo/ ex vivo)・毒性評価(催奇形性、胎児毒性評価等対応)・実験動物用 3DマイクロX線CT・2D/3D 発光/蛍光イメージング・実験動物用マイクロSPECT/CT・マイクロPET/CT

住所　：196-8666　東京都昭島市松原町3-9-12
TEL　：042-545-8111
E mail ：milabs@rigaku.co.jp
URL　：https://www.milabs.com/

Axion BioSystems Japan 合同会社

Maestro MEAは、底面に平面電極が埋め込まれたMEAプレート(最大96well)上に神経/心筋細胞を播種・培養し、電気的な活動を測定します。セミ・オートメーションの装置で簡単にデータを測定し、付属ソフトで解析エンドポイントが得られます。神経毒性・心毒性評価に最適です。

キーワード
MEA (Micro Electrode Array)・神経毒性評価プラットフォーム・心毒性評価プラットフォーム・微小電極アレイ・細胞外電位測定

住所　：108-0075　東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラル8階
TEL　：03-6863-5453
E mail ：www.axionio.com
URL　：www.axionbio.com

アジレント・テクノロジー株式会社 / Agilent Technologies Japan

アジレントはライフサイエンス、診断、応用化学分野のリーダーとして、世界中のラボ向けに装置、サービス、消耗品、アプリケーションを提供し、お客様の研究に貢献しています。当社はこれからも信頼性の高い製品群をお客様に提供してまいります。

キーワード
細胞解析装置、 細胞外フラックスアナライザー・酸素消費速度(OCR)、細胞外酸性化速度(ECAR)・ミトコンドリア呼吸、解糖系、リアルタイム細胞解析・生体エネルギー代謝

住所　：192-8510　東京都八王子市高倉町 9-1
TEL　：0120-477-111
E mail ：email_japan@agilent.com
URL　：https://www.chem-agilent.com/contents.php?id=1006925

Cellames Inc.

Cellames Inc. develops label-free, real-time impedance systems for monitoring cell growth, differentiation, cytotoxicity, and drug effects. We analyze drug toxicity reactions by measuring the electrical signal of cardiac and neuron cells. Additionally, we develop disk electrode array plates with transparent electrodes for microscopy.

キーワード
MEA (Micro Electrode Array) system・in vitro Cardiotoxicity Test・Cytotoxicity Test・Transparent Electrode Array

TEL　：+82-31-604-3403
E mail ：contact@cellames.com
URL　：www.cellames.com

キコーテック株式会社 / Kiko Tech Co., Ltd.

Akoya Biosciences社の最新技術を用いた空間プロテオミクス、トランスレーショナル探索ソリューションをご紹介します。また、ディープラーニング機能を搭載したVisiopharm社の空間生物学研究におけるマルチプレックス・画像解析ソフトウェアもご紹介します。

キーワード
シングルセル空間解析・組織・細胞解析・蛍光多重染色・画像解析・空間プロテオミクス

住所　：211-0004　神奈川県川崎市中原区新丸子東三丁目1200番地
KDX武蔵小杉ビル11F
TEL　：044-430-3245 / FAX：044-433-4390
E mail ：kiko_bizdev_marketing@kiko-tech.co.jp
URL　：https://www.kiko-tech.co.jp/

シスメックス株式会社 / Sysmex Corporation

シスメックスは、医療検査の分野で培った技術で非臨床分野における血液検査と快適なユーザビリティの実現に向けて取り組んでいます。ブースでは血算，凝固，生化学分野における実験動物用分析装置やヒト3Dミニ肝臓のご紹介をいたしますのでぜひお立ち寄り下さい。

キーワード
非臨床・血液検査・動物血・骨髄

住所　：651-0073　神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
TEL　：078-991-2091
E mail：labsciece@sysmex.co.jp
URL　：www.sysmex-labscience.jp

住商ファーマインターナショナル株式会社 / Summit Pharmaceuticals International Corporation

In Vivo Imagingと次世代シーケンシング技術に関わる機器と試薬を販売しています。催奇形性や胎児毒性評価ツールとして小動物用マイクロCT、遺伝子変異や発現解等の遺伝毒性評価目的で有用な次世代シーケンサーを展示ブース「110」にて紹介しております。

キーワード
In Vivo Imaging System(CT, Optical, MRI, Echo, RI)・マウス尾静脈自動注射システム・次世代シーケンサー・空間トランスクリプトーム・シングルセル解析技術・NGS受託サービス

住所　：100-0003　東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル12階
TEL　：03-5220-1520 / FAX：03-5220-1521
E mail：biosupport@summitpharma.co.jp
URL　：https://www.summitpharma.co.jp/japanese/service/products/index.html

柴田科学株式会社 / SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.

弊社は安全性評価や毒性試験に関連する各種試験装置を設計・制作しています。
長年のノウハウとお客様のご要望にあわせたオーダーメイドの試験装置を作れることが大きな強みです。
本学会では新製品の細胞曝露試験装置、小型魚類毒性試験装置を展示予定です。
ぜひ弊社ブースへ足をお運びください。

キーワード
毒性試験・安全性試験・吸入実験装置・細胞曝露・鼻部曝露装置

住所　：340-0005　埼玉県草加市中根1-1-62
TEL　：048-933-1577
E mail：ee-530@sibata.co.jp
URL　：https://www.sibata.co.jp/

株式会社セルシード / CellSeed Inc.

薬物や毒素などが細胞層のバリア機能に与える影響評価、DDS、血液脳関門研究などでご使用いただけるTER自動測定装置「cellZscope」、細胞に損傷を与えるトリプシンを用いることなく簡単に細胞回収を行える温度応答性細胞培養器材「UpCellシリーズ」などを展示いたします。

キーワード
毒性評価・バリア機能・経上皮電気抵抗値 (TER)・タイトジャンクション・血液脳関門 (BBB)

住所　：135-0064　江東区青海2-5-10　テレコムセンタービル東棟15F
TEL　：03-6380-7490 / FAX：03-6380-7491
E mail：sales.ccw@cellseed.com
URL　：https://www.cellseed.com

株式会社シンファクトリー / SHINFACTORY CO.,LTD

シンファクトリーは研究者のニーズにお答えし、研究機器の開発製造販売を通して皆様のお役に立ちたいと考えています。

キーワード
ローデント用鼻部吸入曝露装置・摂食・飲水・運動量測定

住所　：813-0035　福岡市東区松崎２丁目１０－１４
TEL　：092-692-4130
E mail：kanda@shin-t.co.jp
URL　：https://www.shin-t.co.jp/

ゾエティス・ジャパン株式会社

動物医薬品、医療機器の世界的リーディングカンパニーです。実験動物においても使用可能な血液検査機器を販売しており、国内でも多くの研究機関様にご採用頂いております。機器のデモンストレーションも可能ですのでご興味ありましたら弊社までご連絡を宜しくお願い申し上げます。

キーワード
動物用血液検査機器・動物用医療機器

住所　：151-0053　東京都渋谷区代々木3-22-7
TEL　：0120-317-955

ソニーセミコンダクタソリューションズ・SCREENホールディングス

高密度多電極CMOS-MEAシステムを出展します。このたび、ソニー、SCREEN、VitroVoの3社で共同開発した本システムおよび創薬アプリケーションの試験提供を開始しました。ご関心がございましたら是非ブースまでお越しください。

キーワード
Microelectrode Array・in vitro assay・contract research organization・electrophysiology・CMOS-MEA

住所　：243-0014　厚木市旭町4-14-1
TEL　：080-1127-7535
E mail ：cmos-mea_support@screen.co.jp

株式会社ニコンソリューションズ

株式会社 ニコン ソリューションズ

湘南ヘルスイノベーションパークのNikon BioImaging Labは、機器の利用サポートのほか、顕微鏡イメージングや画像解析の受託サービスを提供しています。今回、内耳における蝸牛有毛細胞の撮像・解析事例をご紹介いたします。

キーワード
顕微鏡・受託・イメージング・解析・撮像

住所　：140-0015　東京都品川区西大井1-7-11
TEL　：03-3773-8138
E mail ：Nsl-bio.Marketing@nikon.com
URL　：https://www.microscope.healthcare.nikon.com/ja_JP/bioimaging-centers/nikon-bioimaging-labs/shonan-ja

東京応化工業株式会社

東京応化工業が開発したMPSシステム「Fluid3D-X」は上下膜フロー構造を持ち、細胞にシェアストレスを掛けられ、薬剤吸収-代謝を評価する透過性モデルの構築が出来る、灌流培養システムとなっております。

キーワード
OoC・MPS・Fluid3D-X

住所　：253-0114　高座郡寒川町田端1590
TEL　：0467-75-2151
E mail ：tok_bd@tok.co.jp
URL　：https://www.tok.co.jp/

日本ゼオン株式会社 / ZEON CORPORATION

Aurora™ Microplates

Aurora Microplates 細胞培養用オリジナルコートプレートは、様々な細胞の培養に適したReady-to-use のプレコートプレートです。細胞観察、神経・細胞治療研究などでの培養用器材としてお使いいただけます。神経細胞、HEK293に対応したF シリーズと心筋・幹細胞に対応したG シリーズ(近日発売予定)がございます。

キーワード
マイクロプレート・イメージング・ハイコンテント・細胞培養・高い細胞接着性

住所　：100-8246　千代田区丸の内１－６－２新丸の内センタービル
TEL　：03-3216-1769
URL　：https://www.zeonaurora.com/

東京ダイレック株式会社

医薬品や農薬等の研究開発、品質管理、安全性評価では、In vitro試験法が広く使用されます。Cultex社の細胞曝露システムRFSは、気液界面での直接曝露技術を採用し、ガス、固体・液体エアロゾル、複雑な混合物等、様々な試験化合物を均一に細胞に曝露可能です。また、動物曝露実験や吸入毒性評価向けの各種計測装置もご紹介します。

キーワード
毒性実験・細胞曝露・動物曝露実験・吸入毒性評価・粒子粒径分布計測

住所　：160-0014　東京都新宿区内藤町1　内藤町ビルティング
TEL　：03-3355-3632
E mail ：info@tokyo-dylec.co.jp
URL　：https://www.t-dylec.net/

浜松ホトニクス株式会社 / HAMAMATSU PHOTONICS K.K.

HAMAMATSU PHOTON IS OUR BUSINESS

弊社は、創薬支援・毒性評価における市場ニーズに合わせた研究開発をサポートする「イメージングソリューション」を提供しています。本学会での展示では組織スライドを高速・全自動でデジタル化する装置、ヒト由来iPS細胞(神経・心筋)を使った安全性評価装置、3次元オルガノイドスクリーニング装置、多重蛍光染色イメージング装置を展示しています。

キーワード
組織イメージング・iPS細胞・オルガノイドスクリーニング・多重蛍光染色

住所　：431-3196　静岡県浜松市中央区常光町812
TEL　：053-431-0150
E mail ：sales@sys.hpk.co.jp
URL　：www.hamamatsu.com

株式会社樋口商会 / Higuchi Inc.

カガクする、専門商社
樋口商会

生体模倣システムを使った動物実験に代わる試験法をご紹介しております。
共培養Organ-on-a-tipで神経細胞をもった組織を培養し神経毒性の評価を。また、アクチュエーターを使ったOrgan-on-a-tipで動的な各種試験が可能です。
加えて、発熱性物質試験では、ヒト単核細胞を使った単球活性化試験キットも取り扱っております。
各種試験のご相談承っておりますので、ぜひブースにお立ち寄りください。

キーワード
動物実験代替法・生体模倣システム・毒性試験・薬効試験・エンドトキシン試験

住所　：108-0075　東京都港区港南2-16-2太陽生命品川ビル10F
TEL　：03-5479-5592 / FAX：03-5479-5675
E mail ：iyaku@higuchi-inc.co.jp
URL　：www.higuchi-inc.co.jp

プライムテック株式会社 / Primetech Corporation

プライムテック株式会社

・[NEW] ヒト生体臓器模倣システム PhysioMimix
・[NEW] マルチモーダル細胞動態解析システム Pixelシリーズ
・ベンチトップインキュベーター・バイオリアクター CERO 3D
・実験小動物用 薬液投与・血液/体液採取ツール、振舞・動AI解析システム、デジタルテレメトリーシステム

キーワード
オルガノイド・3D培養・オーガンオンチップ・ライブセル解析・投与採血

住所　：112-0002　東京都文京区小石川1-3-25　小石川大国ビル2F
TEL　：03-3816-0851
E mail ：marketing@primetech.co.jp
URL　：https://www.primetech.co.jp

株式会社フィジオテック / Physio-Tech Co., Ltd.

Physio-Tech

弊社では神経科学、生理学、薬理学、その他最新の基礎医学研究機器を扱っております。今回は、多チャンネルCMOS-MEA、飼育ケージを丸ごとモニタリングする機器を展示していますので、ぜひお立ち寄りください。

キーワード
神経科学・生理学・薬理学・MEA・飼育ケージアナライザー

住所　：101-0032　東京都千代田区岩本町1-6-3
TEL　：03-3864-2781
E mail ：sales@physio-tech.co.jp
URL　：https://www.physio-tech.co.jp

メルク株式会社 / Merck Ltd.

メルク株式会社のライフサイエンス・ビジネスは、創薬や医薬品製造に関連する製品・サービスを提供しています。展示では「Millicell ERS 3.0デジタル電圧抵抗計」や「Luminexマルチプレックスアッセイ装置」、高感度検出装置「SMCxPRO」、オルガノイド関連製品、動物を使用しない発熱性物質試験「PyroMATシステム」などを紹介いたします。

キーワード
Millicell ERS 3.0デジタル電圧抵抗計・Luminex xMAP INTELLIFLEXシステム・患者由来オルガノイド(PDO)・PyroMATシステム

住所　：106-0041　東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ 森JPタワー 26F
TEL　：03-5434-6341
URL　：https://www.merckmillipore.com/

フィジオマキナ株式会社 / Physio Mckina Co., Ltd.

PHYSIO MCKINA

当社はIn vitro生体模倣システムに注力し、MPS、3Dバイオプリンタ、定量位相イメージング、メカノバイオ評価を統合した先進的ソリューションを提供しております。自社のラボを2拠点有し、創薬の高精度化を強力に支援いたします。

キーワード
MPS・Microphysiological system・生体模倣システム・3Dバイオプリンタ・メカノバイオロジー

住所　：343-0816　埼玉県越谷市弥生町1-4 越谷弥生ビル2F
TEL　：050-3536-1817
E mail ：contact@physiomckina.co.jp
URL　：https://www.physiomckina.co.jp/

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

MOLECULAR DEVICES

下記のような課題をお持ちの方は、ぜひお立ち寄りください。
iPS 細胞や3D オルガノイドの培養自動化に関心のある方
自動化技術を用いた再現性の向上に取り組んでいる方
3D モデルのイメージングアッセイでスループットを改善したい方
ハイコンテントスクリーニングにおいてセグメンテーションに課題を感じている方

キーワード
ハイコンテントイメージング・ハイコンテントアナリシス・毒性評価・オルガノイド・培養自動化

住所　：103-0002　東京都中央区日本橋馬喰町2-7-8 いちご日本橋イーストビル 7F
TEL　：0120-993-656
E mail ：info.japan@moldev.com
URL　：https://www.moleculardevices.co.jp/

ヤマハ発動機株式会社 /
YAMAHA MOTOR CO.,LTD.

2025年3月新発売の細胞ピッキング&イメージングシステム「CELL HANDLER2」をご紹介しています。最先端技術を取り入れ、研究者の方々からのフィードバックを活かし、これまでにないユーザーエクスペリエンスを提供する次世代セルハンドリングシステムです。AIによる自動化とイメージング機能の強化、操作感の向上を実現し、新たな発見を目指す研究者の挑戦を力強くサポートします。大規模スクリーニング、細胞品質管理、細胞株樹立など、創薬における幅広いニーズにお応えする、細胞研究のベストパートナーです。

キーワード
オルガノイド・MPS・細胞株樹立・細胞ピッキング・イメージング

住所　：433-8103　静岡県浜松市中央区豊岡町127番地
TEL　：053-525-7292
E mail ：ych@yamaha-motor.co.jp
URL　：https://www.yamaha-motor.co.jp/hc/

コンピューターシステム

株式会社FRONTEO

FRONTEOは自社開発の自然言語処理AIエンジン「KIBIT」による新規性の高い創薬標的探索、Drug Repositioningおよびバイオマーカー探索と、それらを裏付ける仮説の生成を行う創薬支援サービスを提供しています。医薬品研究開発の安全性評価プロセスでも活用できるAI「KIBIT」を搭載した論文探索AI「KIBIT Amanogawa」、創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」をご紹介します。

キーワード
人工知能・創薬研究支援・標的分子探索・ドラッグ・リポジショニング・安全性評価

住所　：108-0075　港区港南2-12-23 明産高浜ビル
TEL　：03-5463-6344
E mail：sales_marketing@fronteo.com
URL　：https://lifescience.fronteo.com/

インフォコム株式会社 / INFOCOM CORPORATION

毒性安全性研究支援ツールを多数提供しており、以下の製品を中心にご紹介いたします。
・CASE Ultra：ICHM7対応可能なQSARソフト、変異原性以外の毒性にも
・QSAR Flex：ニトロソアミン類評価および生成を予測
・ToxPlanet：毒性情報検索ツール、世界中の毒性データを一括検索

キーワード
毒性/安全性/代謝物予測・in silico、QSAR解析・ニトロアミン評価、生成予測・毒性データ調査・ICH M7対応

住所　：107-0052　東京都港区赤坂9-7-2 ミッドタウン・イースト10F
TEL　：03-6866-3860
E mail：multicase_support@infocom.co.jp
URL　：https://www.infocom-science.jp/

Instem Japan株式会社 / Instem Japan K.K

当社はProvantis、Leadscope、Comet Assay IVなど非臨床領域を中心としたコンピュータソフトウェアの提供、およびSEND関連、ICH M7レポート、N-Nitrosamine予測のレポーティングサービス、TSAなどの受託サービスも展開しております。また、VCG（Virtual Control Group）の対応なども推進しております。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

キーワード
安全性試験システム・SEND・Target Safety Assessment・遺伝毒性システム・Virtual Control Group

住所　：108-6028　東京都港区港南2−15−1 品川インターシティ A凍２８階
TEL　：03-6717-6778
E mail：japaninfo@instem.com
URL　：www.instem.com

エルピクセル株式会社 / LPIXEL Inc.

ライフサイエンス領域に特化したAI技術を用いた画像解析ソリューションを提供しています。本展示では細胞の画像解析(小核試験等)、動物行動解析、病理試験等の毒性試験でご使用いただけるクラウド型画像解析AIプラットフォーム「IMACEL Platform」、及び心毒性評価にご使用いただけるソフトウェア「IMACEL SI8000」をご紹介いたします。

キーワード
画像解析AI・創薬支援・安全性試験自動化・人工知能・ソフトウェア

住所　：100-0004　東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル6F
TEL　：03-6259-1713
E mail：research-biz@lpixel.net
URL　：https://lpixel.net/

Lhasa Limited

Lhasaは化合物の安全性評価をサポートするin silicoソリューションの開発を通じて、サイエンスの発展に貢献しています。
現在、以下のソフトウェアを提供しています。
› In silco変異原性評価
› 皮膚感作性評価
› 発がん性評価
› ニトロソアミン不純物のリスク評価
› 不純物と分解物の管理
› 代謝物の同定

キーワード
In silico・化学物質の安全性評価・ICH M7・ニトロソアミン・データシェアリング

住所　：LS11-5PS　Granary Wharf House, 2 Canal Wharf, Leeds, LS11 5PS, UK
TEL　：+44-0-113-394-6020
URL　：https://www.lhasalimited.org/

株式会社タクミインフォメーションテクノロジー / Takumi Information Technology Inc.

非臨床分野で様々なサービスを提供しております。
・SENDVT：SEND XPTファイルをJMPファイルへ変換、可視化するツール
・XPT Compare：SEND XPTファイル変換、作成、QCのサポートツール
・Stat Preclinica：89手法を搭載した非臨床統計解析ツール
・その他：統計コンサルティング、統計教育、LIMS開発/保守、JMPアドイン販売等

キーワード
CDISC　SEND・非臨床統計・SENDVT・XPT Compare・Stat Preclinica

住所　：171-0014　東京都豊島区池袋2-40-13 池袋デュープレックスB’s 11F
TEL　：03-5979-7381
E mail：contact@takumi-it.co.jp
URL　：https://takumi-it.co.jp

日本エスエルシー株式会社 / AIRA MATRIX / JAPAN SLC, INC. / AIRA MATRIX

SLCとAIRAが連携し、前臨床領域における病理評価の高度化を推進。AIを活用した解析技術により、精度・効率・再現性の向上を実現します。

キーワード
実験動物・飼料・外科的処置病態モデル動物作製・AI病理診断・WSI解析

住所　：431-1103　静岡県浜松市中央区湖東町3371番地の8
TEL　：053-486-3178 / FAX：053-486-3156
E mail ：info@jslc.co.jp
URL　：http://www.jslc.co.jp/

三井E&Sシステム技研株式会社

安全性試験を支援するMiTOX(三井安全性試験システム)を主軸に、創薬・薬理試験に対応した簡易試験版、SEND対応、動物実験計画・報告の倫理審査(ワークフロー機能)、オンライン機器からのDI対応をサポートするオンラインデータ収集ツールや業務支援を目的とした周辺システム製品を数多く取り揃えています。また、新たな取り組みとして、データ活用プラットフォーム(各種データの統合)による試験スケジュールの可視化に関する展示もございますので、是非お気軽にお立ちより下さい。

キーワード
安全性試験・SEND・動物実験管理(倫理審査機能)・オンライン機器(分析装置、天秤)データの収集・データ利活用とした試験スケジュール管理

住所　：700-0903　岡山県岡山市北区幸町8番29号
TEL　：086-803-2900 / FAX：086-803-2988
E mail ：info-e@msr.co.jp
URL　：https://www.msr.co.jp

パソリティックス (Powered by Deciphex) / Patholytix (Powered by Deciphex)

Patholytixは、製薬メーカー様と CRO 様での包括的な非臨床病理スライド画像の管理と鏡検を可能にするデジタルパソロジーツールです。GLP 試験の 1 次鏡検やピアレビュー・試験データ共有をフルデジタルで実現するだけでなく、AI による病理判断支援や、WSI スキャンの代行、ディスカバリー段階の Non-GLP 試験の標本も含めたスライド画像のアーカイブ・ライブラリ化など、研究力の強化につながる施策を総合的に支援できます。

キーワード
デジタルパソロジー・非臨床試験・AI・コラボレーション向上・GLP試験対応

住所　：D11 KXN4　DCU Alpha, Old Finglas Rd, Glasnevin, Dublin, 9, Ireland
TEL　：+353-1-582-7193
E mail ：juliana.fujita@patholytix.com
URL　：https://www.patholytix.com/

株式会社モルシス / MOLSIS inc.

ChemTunesToxGPSは、化合物の安全性とリスク評価のための統合プラットフォームです。各国の規制当局が持つ毒性試験データベース、化合物の毒性と環境運命予測のためのQSARモデル、リードアクロス解析、TTC解析、POD推算、およびケモタイププロファイリングなどの各種解析機能を提供します。

キーワード
毒性試験データベース・リードアクロス解析・QSARモデル・毒性予測・動物試験代替法

住所　：273-0862　東京都中央区八丁堀3-19-9ジオ八丁堀
TEL　：03-3553-8030
E mail ：sales@molsis.co.jp
URL　：https://www.molsis.co.jp/

富士通株式会社 / Fujitsu Limited

当社ブースでは、安全性試験管理システム『tsPharma LabSite』を紹介しております。本システムは、小規模から大規模だけでなく非定型試験にも適用できる柔軟な試験業務機能に加えて、SEND対応などの関連業務を支援する機能を取り揃えております。是非、お気軽にお立ち寄り下さい。

キーワード
安全性試験システム(一般毒性試験／生殖試験／遺伝毒性試験)・非ＧＬＰ試験／非定型試験対応・ＳＥＮＤ対応・病理室システム・ＧＬＰ調査対応実績

住所　：144-8588　東京都大田区新蒲田1-17-25
TEL　：044-777-1111
E mail ：fj-labsite-contact@dl.jp.fujitsu.com
URL　：https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/life-sciences

株式会社レビティジャパン / Revvity Japan Co.,Ltd.

Revvityは、革新的な技術とソリューションを駆使し、ライフサイエンスと診断分野におけるイノベーションを推進し、世界中の人々の生活の質の向上に貢献しています。試薬・機器・ソフトウェアで研究活動をサポートします。ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください。

キーワード
Signals Notebook・ChemDraw・Spotfire・Cell Painting・細胞イメージング

住所　：222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-3
EPIC TOWER SHIN YOKOHAMA 7F
TEL　：045-330-9618
URL　：https://revvitysignals.jp/

株式会社ワールドフュージョン /
WorldFusion Co.,LTD.

医薬品の安全性知識ベース SafetyVistaの最新版をご紹介します。
さらに 文献解析、マイクロバイオームの機能を行うソフトウェア、
Zebrafishのサービスとデータ解析をご紹介します。

キーワード
安全性知識ベース・有害事象自発報告・文献解析・
マイクロバイオーム・ゼブラフィッシュ

住所　：103-0014　東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-12 油商会館ビル2F
TEL　：03-3662-0521
E mail ：oshirase@w-fusion.co.jp
URL　：https://www.w-fusion.co.jp/

インビボサイエンス株式会社 / In-Vivo Science Inc.

創薬や医学研究に欠かせない高度なヒト疾患モデルの供給やそれらを用いたサービスを提供する会社です。実験動物の品質規格やヒト疾患動物モデルの開発で世界をリードする（公財）実中研のライセンス・サービス、先進独自な動物試験サービス、モデル動物の遺伝子検査サービスを提供いたします。

キーワード
ヒト化マウス・ヒト肝キメラマウス・造腫瘍性試験・
In vivo 実験モデル・再生医療製品

住所　：210-0821　川崎市川崎区殿町3-25-12（公財）実中研内
TEL　：044-201-8518 / FAX：044-201-8519
E mail ：sales@invivoscience.com
URL　：https://www.invivoscience.com/

マーシャル・バイオリソーシス・ジャパン株式会社 / Marshall BioResources Japan Inc.

高品質な実験動物やエンリッチメントのグローバルプロバイダーです(本社：米国)。マーシャルビーグル、ネコ、フェレット、A129/AG129マウス、重度免疫不全マウス/ラット(F344RG)、ハッピーマット(麻原料のエンリッチメント)、SPF鶏卵、動物用医薬品ワクチンCRO(Clinglobal社)等を通じ、研究や製造にて貢献しております。

キーワード
マーシャルビーグル・APD/SPFネコ・フェレット・
重度免疫不全マウス/ラット・ハッピーマット

住所　：305-0047　茨城県つくば市
TEL　：029-875-5870
E mail ：infojp@marshallbio.com
URL　：https://www.marshallbiojp.com/

その他

Biocytogen Pharmaceuticals (Beijing) Co., Ltd.

Biocytogen provides one-stop solutions for next-generation drug development, supporting the global biomedical community from target identification to IND application. Leveraging proprietary gene-editing technology and the innovative RenMice® platforms, Biocytogen offers fully human antibody discovery, featuring a library of over 1M sequences targeting nearly 1,000 antigens for global partnerships. Our technical teams also deliver an extensive portfolio of products and services, including drug-targeted humanized models, comprehensive preclinical pharmacology services, and custom gene-editing solutions.

キーワード
Animal Models & Cell Lines・Preclinical Services・
Gene Editing Services・RenMab・Fully Human Antibody

住所　：No. 12 Baoshen South Street, Daxing Bio-Medicine Industry Park, Daxing District, Beijing, China
TEL　：+86 18600804173
E mail：yunhong.liu@bbctg.com.cn
URL　：https://biocytogen.com/

PLUSBIO CO., LTD

PLUSBIO is a company specializing in primate-related business.
We offer health management solutions designed for all primate species, available for purchase globally.
We aim for our solution to play a significant role in addressing the health management challenges faced by many research institutes and production facilities.

キーワード
NHP Health Monitoring System・NHP Diagnostics・Monkey・Virus・Tuberculosis

住所　：1613, A building, Hyundai Tera Tower CMC, Sumongwon-ro 88beon-gil 35, Osan-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea, 18126
TEL　：+82 317666060
E mail：taetae@plusbio.co.kr
URL　：http://www.plusbio.co.kr

エルゼビア・ジャパン株式会社 / Elsevier Japan K. K.

【AIの力を解き放つ】新機能PharmaPendium Reg AIを用い、非構造化文書を分析する方法について議論します。
また、Tox Navigatorを使用して構造化された安全性データを分析し、薬剤開発を最適化し、患者の安全性を向上させる方法も考察していきます。
ポスター発表もぜひお越し下さい。

キーワード
AI・予測モデル・データ・安全性・分析

住所　：106-0044　港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4F
TEL　：03-5561-5386
E mail：jp.corporate@elsevier.com
URL　：https://www.elsevier.com/ja-jp

国立環境研究所エコチル調査コアセンター / NIES Programme Office of the Japan Environment and Children's Study

2011年から始まり、全国15地域で10万組の親子を対象に、子どもが母親のお腹にいる時から身の回りの環境が子どもたちの健康にどのような影響を与えているのか調べています。
化学物質などの環境要因、親子の生体試料や生活習慣の情報を集め、どのように調査を進めているのか、またこれまでの研究成果を紹介します。

キーワード
出生コホート・化学物質・妊婦・子ども・健康

住所　：305-8506　茨城県つくば市小野川16-2
URL　：https://www.nies.go.jp/jecs/index.html

株式会社生物技研 / Bioengineering Lab. Co., Ltd.

同社は、2015年に設立され、DNA・RNAの抽出からバイオインフォマティクスまで一貫して自社内(国内)で行う体制を整えています。
イルミナ社、PacBio社、MGI社のシーケンサーを取り揃えています。
リーズナブルな価格と短納期の遺伝子解析サービスを提供しています。

キーワード
次世代シーケンス受託・RNA-seq・ゲノム解析・細菌叢解析・環境DNA解析

住所　：252-0154　神奈川県相模原市緑区長竹657
TEL　：042-780-8333 / FAX：042-780-8334
E mail：dna@gikenbio.com
URL　：https://gikenbio.com/

東北大学東北メディカル・メガバンク機構 / Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization (ToMMo)

東北大学東北メディカル・メガバンク機構では、コホート調査によって得た15万人分のヒト生体試料、アンケート、生理学検査の情報およびゲノム・オミックス解析のデータを収集・管理しています。これらの試料・情報を研究者の皆さまに利活用いただけるよう、共有の仕組みを整えています。是非ブースへお越しください

キーワード
ゲノム解析・コホート調査・バイオバンク・試料・情報分譲

住所　：980-8573　宮城県仙台市青葉区星陵町2-1
TEL　：022-717-8078
URL　：https://www.megabank.tohoku.ac.jp/

内閣府食品安全委員会 / Food Safety Commission of Japan

日本毒性学会会員の皆様にもご活躍いただけます！
食品安全委員会は、食品の安全を確保するため、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等を行うリスク管理機関(厚生労働省、農林水産省、消費者庁等)から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関です。展示ブースでは、研究・調査事業や英文オンラインジャーナル「Food Safety」のご紹介も行っています。

キーワード
食品安全・Food Safety・リスク評価・食品健康影響評価技術研究・リスクコミュニケーション

住所　：107-6122　東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22F
TEL　：03-6234-1166
E mail ：fscj@cao.go.jp
URL　：https://www.fsc.go.jp/

株式会社フェニックスバイオ / PhoenixBio Co., Ltd.

当社はヒトの肝臓をもつキメラマウス「PXBマウス」を実験動物として生産しております。
また、PXBマウスから採取した新鮮ヒト肝細胞「PXB-cells」の関連商品や、肝細胞向けのコンディション培地「PXB-Shizuku」を販売しています。
当社ブースにて各製品および実施例をご紹介させて頂きます。

キーワード
ヒト肝細胞キメラマウス・新鮮ヒト肝細胞・ヒト肝毒性予測・ミトコンドリア毒性・肝毒性バイオマーカー

住所　：739-0046　広島県東広島市鏡山3丁目4-1
TEL　：082-431-0016
E mail ：sales@phoenixbio.co.jp
URL　：https://phoenixbio.co.jp/

三井化学株式会社

三井化学は、独自の素材を用いた高酸素透過性培養プレートInnoCellを開発しました。InnoCellは、従来のポリスチレン製プレートと比べ、約190倍も酸素を培養底面よりダイレクトに細胞へ供給することができます。肝細胞、腎細胞、心筋細胞、肺細胞など高酸素要求性細胞の薬理応答の向上のみならず、iPS細胞、幹細胞、癌化細胞など細胞機能の向上によるハイスループットスクリーニングへの適用が期待できます。

キーワード
細胞培養容器・高酸素透過性・低薬剤吸着性・低自家蛍光

住所　：297-8666　茂原市東郷1900
TEL　：03-6880-7523
E mail ：InnoCell@mitsuichemicals.com
URL　：https://jp.mitsuichemicals.com/en/special/innocell/index.htm

ユサコ/JoVE

世界初のビデオジャーナル。ビデオ教材製作にも力を入れています。

キーワード
モデル動物・実験・教材・映像

住所　：106-0044　東京都港区東麻布2-17-12
TEL　：090-8647-8200
E mail ：product@usaco.co.jp
URL　：https://www.usaco.co.jp/

一般社団法人日本毒性学会 (JSOT)

住所　：〒100-0003　東京都千代田区一ツ橋1-1-1
　　パレスサイドビル　(株)毎日学術フォーラム
TEL　：03-6267-4550 / FAX：03-6267-4555
E-mail ：jsothq@jsot.jp
URL　：https://www.jsot.jp/